



2022年2月21日

各 位

会社名 株式会社 松屋
代表者 代表取締役社長執行役員 秋田 正紀
(コード番号 8237 東証第一部)
問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
課長 関 泰程
(TEL. 代表 03-3567-1211)

銀座コアビルの再開発に関連した共同事業に関する基本協定の締結およびこれに伴う特別損失の計上、並びに固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ

本日の当社取締役会において、持分法適用関連会社である株式会社ギンザコアおよび当社他が所有する銀座コアビルの再開発に関連した共同事業に関する基本協定（以下「本基本協定」という。）を地権者とヒューリック株式会社（以下、「ヒューリック」）との間で締結することを決議いたしました。これに伴い、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。また、本基本協定の締結と同時に、当社が保有する固定資産の一部をヒューリックに譲渡することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 不動産再開発および特別損失の内容

当社では、持分法適用関連会社である株式会社ギンザコアおよび当社他が所有する銀座コアビル（東京都中央区銀座5丁目8番20号（住居表示））の再開発に関連した共同事業に関する基本協定を地権者とヒューリックとの間で締結することを決議いたしました。これに伴い、既存建物の解体費用として208百万円、減損損失として136百万円、営業関連費用等として279百万円の合計624百万円を2022年2月期にて特別損失に計上する見込みです。

【再開発の概要】

(1) 規模（予定）	地下4階・地上12階建て、延床面積23,736㎡（7,180坪）
(2) 用途（予定）	複合商業ビル
(3) 本基本協定締結日	2022年2月22日
(4) 竣工（予定）	2027年頃

2. 特別利益および譲渡資産の内容

当社では、本基本協定の締結と同時に当社が保有する固定資産の一部をヒューリックに譲渡することを決議いたしました。これに伴い、固定資産売却益として4,133百万円を2022年2月期に計上する見込みです。

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	現況
土地 東京都中央区銀座五丁目 1 番 3, 17, 18 の一部 東京都中央区銀座五丁目 1 番 36, 46 の共有持分 建物 東京都中央区銀座五丁目 1 番地 6 他の共有持分	4,437 百万円	304 百万円	4,133 百万円	複合商業 ビル

3. 譲渡先の概要

(1) 名称	ヒューリック株式会社	
(2) 所在地	東京都中央区日本橋大伝馬町 7 番 3 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉留 学	
(4) 主な事業内容	不動産の所有・賃貸・売買ならびに仲介業務	
(5) 資本金	111,609 百万円	
(6) 設立年月日	1957 年（昭和 32 年）3 月 26 日	
(7) 純資産	638,332 百万円	
(8) 総資産	2,207,325 百万円	
(9) 大株主及び持分比率	日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）8.15%	
(10) 当社と当該会社の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者および関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社および当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者関係	当社と当該会社との間には、記載すべき関連当事者関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社および当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき関連当事者関係はありません。

4. 譲渡の日程

(1) 取締役会決議日	2022年2月21日
(2) 契約締結日	2022年2月22日
(3) 引渡期日	2022年2月22日

5. 連結業績に与える影響

このたびの不動産再開発の決定に伴う業績予想の修正につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上